



川岸 幸弘 さん

● 常盤中3年 ●

キャッチ・ザ・  
ドリーム

僕は小学生のころから、さまざまな薬品を使う理科の実験が大好きでした。そして、中学生になってから、化学薬品を使った商品開発をする会社で働きたいという希望をもつようになりました。その会社で、既存のものを改良したり、新製品を開発したりするなどの仕事に携わり、子どもから大人まで、みんなが喜んでくれる製品を作り出していきたいと考えています。

キャッチ・ザ・ドリームー夢をつかもう！

みんなの広場に  
出てみませんか？

「キラリ★話題の人」「すてきな仲間たち」「めおと人生」に登場していただける方を募集しています。自薦・他薦は問いません。

※「すてきな仲間たち」「めおと人生」は隔月で掲載します

■問合せ

政策調整課広報広聴係

☎(20)3037



- 活動日 毎月第1・第3金曜日  
午後2時～4時
- 会場 中央公民館
- 連絡先 代表 松倉 栄三 ☎(22)2564  
または郷土博物館 ☎(22)5111

すてき **仲間たち**

佐野古文会

会の目的は、郷土博物館や個人所蔵の古文書を解説することであり、古文書特有のくずし文字の判読の基礎を学びながら、佐野市とその周辺の歴史の一端に触れることです。初心者でも容易になじめるよう、主に近世の古文書を中心に取り上げています。座談風に解説しながら、わからないところは質問し、誰かが解釈するなどして和やかに読み進めています。読めなかった文字がわかった時の喜びは格別で、脳の活性化にこれ以上の良い刺激はないと思っています。

また、郷土博物館と共催で、毎年古文書入門講座を開催しています(今年までに計9回開催)。月2回の勉強会のほか、現会員12人(うち女性3人)で時々食事会や史跡・行楽地を散策するなど、会員の懇親も行っていきます。



今回の表紙「イルミネーション」道の駅どまんなかたぬま(吉水町)にて

道の駅どまんなかたぬまでは、11月3日(祝)から、「ガーデンイルミネーション」が点灯されています。毎年冬の恒例行事となったこのイルミネーション、今年は9万個を超える電球が色鮮やかな光を放ち、輝く庭を演出しています。

なお、このイルミネーションは、来年2月末まで実施される予定です。

高萩町ふれあいサロン会計

## 小林チイ子さん (高萩町)



○プロフィール  
昭和21年、高山町生まれ。  
高萩町ふれあいサロンで50  
人からの参加者をサポート。  
ボランティアとして、各奉  
仕活動を実践している。

### 今だから 出来ることを

地元の神社で開かれた秋祭り。「次は、コーラス「ふたり花」。ふれあいサロンの皆様、よろしくお願ひします!。会場内にかろやかな声が響き、拍手と声援に包まれて出演者が登場してゆく。プログラムとマイクを片手に、司会者の小林チイ子さんが、出演者と観覧者そして時間を見事にコーディネートしてゆく。

市内のデパートで場内アナウンスを務めた後、乞われて20年もの間、新聞社の佐野支局において街頭放送のアナウンスを務めた人を魅了する声は今も健在、地元を中心に各行事の名司会者として活躍している。

「いつも、私でいいのかなと思っ  
ています」と謙遜する小林さん。  
だが、地元の高萩町ふれあいサロ  
ンでは、司会進行、歌唱指導、健  
康体操指導と3役をこなし、地域  
のお祭りなど各種イベントでも、  
その淀みない進行で、参加者・主  
権者を問わずに信頼が厚い。集つ  
た方からの「チイ子さんじゃなく  
ちゃ」との一言が、すべてを物語っ  
ている。

そのさまざまな活動は、全てボ  
ランティア。「人の笑顔、喜ぶ顔が  
見たい」と家事をこなしながら、  
時間を見つけては近所の公園の草  
刈り、高齢者への手作りプレゼン



ボランティア清掃をする小林さん

ト作りなども行なっている。  
ボランティアを始めたきっかけ  
は、高萩町ふれあいサロンのお手  
伝い。「お茶入れだけの気持ち」が、  
サロンに集まる人の笑顔が見たく  
て、さまざまな催し物を企画し、  
実行するうちに、いつしかサロン  
を支える中心人物に。「周りの皆さ  
んに助けていた、たきながら、もう  
7年。楽しいことは早いですね」  
と微笑む。

見返りを求めず活動を続ける小  
林さん、そんな姿について「夫は  
笑っていますよ。でも、近ごろは  
「頑張っているな」と言ってくれ  
るようになりました」と最大の理  
解者をおとして表現してくれた。  
ボランティアで地域を元気に。

「今だから出来ることを」との思い  
を胸に、きょうも地域福祉のため  
に活動し続けている。

### 市長からの メッセージ



カレンダーも最後の一枚となり、1年の締めくく  
りの月となりました。

先月3日には、「人間国宝田村耕一陶芸館」が入っ  
ておりました建物を「まちなか活性化ビル」として  
リニューアルオープンしました。オープニングセレ  
モニーをはじめ、物品販売やステージイベント、安  
藤勇寿さんの作品展などを開催し、大変にぎわいま  
した。ビルの愛称については、本市の輝かしい未来  
を担う、まちなか活性化の中心的拠点施設になつて  
欲しいという願いを込めて「佐野未来館」としまし  
た。この愛称を広く使用し、市民の皆様が親しまれ  
る施設になればと考えております。

また、今月11日からは、ハイチ地震救援企画とし  
て「カリブ海の詩情と芸術・ハイチ絵画展」を佐野  
未来館2階佐野市民ギャラリーで開催します。この  
展覧会は「佐野未来館」のオープニングイベントの  
一環として開催するもので、絵画展のほかにフォト  
ジャーナリスト佐藤文則氏の写真展を佐野駅前プラ  
ザ「ばるぼーと」で開催し、文化芸術によるにぎわ  
いを創出できればと思います。

佐野日大高校が、県大会で連覇を目指した那須拓  
陽高校とのデッドヒートを制し、2年ぶり12回目の  
優勝を飾り、今月26日に京都市の西京極陸上競技場  
を発着点として開催される全国高校駅伝競走大会に  
出場します。

また、駅伝に続きサッカーでも県大会で7年ぶり  
6度目の優勝を果たし、12月30日に東京・国立競技  
場で開幕する全国大会に出場します。全国大会では  
駅伝、サッカーともベストを尽くし優勝を目指して  
頑張っていたのだと思います。

忙しい年末を迎えますが、体気をつけてお過ご  
してください。

岡部正英